



斑点米カメムシ防除のフロントランナー

農林水産省登録 第21260号

殺虫剤分類 4A

浸透移行性殺虫剤

スタークルメイト[®] 液剤10

スタークルメイトは三井化学クロップ&ライフソリューション(株)の登録商標です。

吸汁阻害効果でカメムシ類に口封じ!



トグヨラホシカメムシ



アオクサカメムシ



ミナミアオカメムシ



クモヘリカメムシ



アカヒゲホリミドリカスミカメ



アカスジカスミカメ

ウンカ類などにも高い効果!



トビイロウンカ



セジロウンカ



ヒメトビウンカ



ツマクヨコバエ

だいず・えだまめ、
野菜[※]にも!

※だいこん、キャベツ、ブロッコリー、ねぎ、らっきょう(2021年12月22日現在)



スタークルメイト[®] 液剤10

有効成分：ジノテフラン…10.0%

人畜毒性：普通物 ※「毒物及び劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

- 1.カメムシ類・ウンカ類・ツマグロヨコバイに効果を発揮！
特にカメムシ類には殺虫効果・吸汁阻害効果で、斑点米被害を効率的に防ぎます。
- 2.空中散布・無人航空機散布に加えて、乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置(ブームスプレーヤなど)での散布にも使える液剤です。
- 3.だいでず・えだまめ・野菜の害虫防除にも使えます！

■適用害虫および使用方法

(2021年12月22日付拡大登録内容を含む)

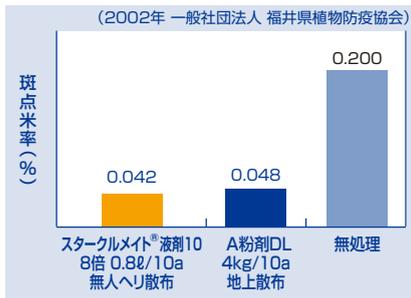
作物名	適用害虫名	希釈倍数	10aあたり使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農業の総使用回数
稲	ツマグロヨコバイ	1000倍	60~150ℓ	収穫7日前まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)
	ウンカ類、カメムシ類	300倍	25ℓ			無人航空機による散布	
	ウンカ類、ツマグロヨコバイ	8倍	0.8ℓ			空中散布	
	ウンカ類	16倍	1.6ℓ				
	ウンカ類	30倍	3ℓ				
	ウンカ類、カメムシ類	8倍	0.8ℓ				
だいでず えだまめ	カメムシ類 フタスジヒメハムシ ダイズサヤタマバエ	1000倍	100~300ℓ	2回以内	3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、散布、空中散布、無人航空機散布は合計2回以内)		
		8倍	0.8ℓ				
だいこん				収穫3日前まで	2回以内	5回以内 は種時の播溝土壌混和は1回以内、 は種時の全面土壌混和は1回以内、 粒剤の散布は1回以内、水溶剤の散布、 液剤の散布及び無人航空機散布は合計2回以内	
キャベツ	アブラムシ類	8~16倍	1.6ℓ			無人航空機による散布	3回以内 (育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び灌水は合計1回以内、 散布及び無人航空機散布は合計2回以内)
ブロッコリー						3回以内 (定植時の土壌混和及び灌水は合計1回以内、 散布及び無人航空機散布は合計2回以内)	
ねぎ	アザミウマ類	10~16倍			4回以内 (は種時の土壌混和、育苗トレイへの灌水 及び定植時の株元散布は合計1回以内、 生育期の株元灌水は1回以内、 散布、無人航空機散布及び 定植後の株元散布は合計2回以内)		
さとうきび	カンジャコバナナガカメムシ イナゴ類	1000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	3回以内	散布	5回以内 粒剤は2回以内、 液剤、水溶剤及び水中和剤は合計3回以内
		14倍	2.4ℓ			無人航空機による散布	
らっきょう	アザミウマ類、ハモグリバエ類	8倍	1.6ℓ	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
いね科牧草	アブラムシ類	1000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで			
水田作物 畑作物(休耕田)*	カメムシ類	1000倍	60~150ℓ	—			

*ヨシ、オギ、ススキ、セイタカアワダチソウ等の多年生雑草が優占している休耕田

■試験成績

●水稲・カメムシ類への防除効果(無人ヘリ散布)

*平成14年度「産業用無人ヘリコプター受託試験成績書」(農林水産航空協会)より一部転記



- 供試昆虫：カメムシ類(ホンハカメムシ、トゲシラホシカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、コバナヒョウタンナガカメムシ混発)
- 発生状況：少発生
- 品種：ハナエチゼン
- 処理：8月6日に、ヤマハR-MAXを用いて所定量を散布した。対照剤は所定量を地上散布した。
- 調査：収穫期に各区3ヶ所で10株刈取り後、玄米中の被害粒数を調査した。

●だいこんのアブラムシへの防除効果(ドローン散布)

(2021年 三井化学クロップ&ライフソリューション(株))



- 試験場所：静岡県浜松市
- は種日：2021年10月2日
- 品種：青豊
- 処理：2021年11月24日、12月1日
- 害虫接種：11月23日、11月30日にモモアカアブラムシが寄生したカイワレ大根を接種
- 調査日：11月24日(散布前)、12月1日(散布前)、12月13日(2回目散布12日後)
- 調査方法：3区(接種した株と隣接する2株を含む3株/区)に寄生する合計虫数を調査

⚠️効果・薬害等の注意

- 使用量にあわせ薬液を調整し、使いきってください。空容器はほ場などに放置せず、3回以上水洗し適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 本剤を空中散布及び無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守ってください。
 - ①散布は各散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ②散布にあつては、散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - ④散布薬液の飛散によって動植物及び自動車やカトラクタンの塗装等へ影響を与えないよう、散布

地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。

- ⑤作業終了後は次の事項を守ってください。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず、適切に処理してください。
 - (b)機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- 本剤を希釈倍数300倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミヅバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ①ミヅバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそ

れがある場合には使用しないでください。

- ②関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミヅバチの危害防止に努めてください。
 - 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- ⚠️安全使用上の注意
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。

- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 空中散布または無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管：直射日光を避け、食品と区別して、冷蔵・乾燥した所に密栓して保管してください。

万一、誤飲した場合には、速やかに医師の手当を受けてください。皮膚などにかかった場合には、十分な水で洗い流してください。さらに、異常を感じた場合は、医師の手当を受けてください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。○ラベルの記載以外には使用しないでください。○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。○空容器はほ場などに放置せず、適切に処理してください。○防除日誌を記載しましょう。

*本製品は農業用殺虫剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。

*本印刷物は2021年12月22日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

SML1L01J



三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社

東京都中央区日本橋1-19-1日本橋ダイヤビルディング
ホームページ <https://www.mc-croplifesolutions.com>